

【施設状況】

グループ名称	少年科学センター						
指定管理者名	株式会社オーエンス				法人番号	5010001039404	
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副			
構成施設	3323	少年科学センター					
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03 一部利用料金制
施設概要	第1展示室、第2展示室、冒険広場、夢の劇場、実験工作室、休憩室、学習室、幼児の広場、事務室、会議室						
施設設置目的	自然科学及び近代科学技術に関する資料を収集・展示し、子どもたちの科学に対する知識の芽を養い、いつも新鮮なおどろきと楽しい雰囲気によって、潜在的興味を喚起できる施設として、科学に対する知識の啓発及び向上を図る。						
基本方針等	科学実験・科学工作教室の開催等、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供するとともに、青少年の科学に対する潜在的な興味を喚起することを目指す。						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターの入館の受付等に関する業務</li> <li>・センターの施設及び設備の維持管理に関する業務</li> <li>・センターの効用を増加させる自主事業に関する業務</li> </ul>						

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	株式会社オーエンス			当該指定管理者の 指定回数	4 回	
指定期間	平成29年4月1日	～	令和4年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成18年4月1日
指定管理者の 健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)					

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年比	評価	
	幼児	人	32,527	27,772	11,803	16,594	141%		
	小・中学生	人	27,194	25,344	9,492	14,845	156%		
	高校生	人	965	997	505	825	163%		
	一般	人	48,996	44,960	18,682	29,634	159%		
	計	人	109,682	99,073	40,482	61,898	153%		
							#DIV/0!		
(特記事項) 【令和3年度】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、9月3日～13日及び1月28日～3月7日を臨時休館とした。 ・閉館最終月である3月の入館者数は12,157人で、コロナ以前と同等の入館者数を記録した。									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由					
	市指定事業	・センターの入館の受付等に関する業務 ・センターの施設及び設備の維持管理に関する業務		・職員製作の展示物を導入し、更新を実施した。 【新規展示物】5点 エジプト関連展示(仮面、棺、食卓模型、ロゼッタストーン等)、ケブラーモーション、ストロボラボ2、恐竜模型、宇宙関連(重力の違い、ロボットアーム、宇宙飛行士トレーニング、月の体重計等)					
	自主事業	・お家工作ショップ ・わくわくカガクあそび ・自動運転で動く車のしくみプログラミング教室 ・映画上映 ・特別イベント ・ミニミュージアムショップの設置		・大人の体験教室 ・天文ソフト「Mitaka」常設上映 ・アウトリーチ事業 ・カプセルトイレの設置		・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の事業を中止・縮小した。 ①ゆめの劇場における立体映画上映(立体メガネの着用により、新型コロナウイルス感染症の感染を拡大する恐れがあるため中止、3月再開) ②団体向け教室(密集を避けるため、平日利用団体を対象に、希望があった場合のみ実施) ③出前教室(原則中止) ④職場体験学習(受け入れ中止) ⑤近隣地区清掃活動への参加(中止) ・ファイナルイベントの開催(3月12～13日):新規展示物増設、サイエンスショー開催、立体映画上映、オリジナル工作キットの販売、ノベルティグッズの配布 ・閉館式典の開催(3月31日)			
サービス維持・向上の取組み(広報等)	・新規展示物を導入した際には、ホームページを活用して、情報発信した。 ・ブログ、Twitterを運用し、より最新の情報や臨時休館・営業再開のお知らせを発信できるようにした。 ・自主事業の情報は、広報ながの、週刊長野、子育て情報誌等を活用し、お知らせを随時掲載した。 ・閉館に関する取材を積極的に受け入れ、長野市民の最後の思い出作りに来館していただけるよう発信した。								

4

3 利用者評価

区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	
利用者評価	(2) 調査、会議等の内容 ・館内アンケートボックス、ホームページのお問い合わせフォームにおいて実施 ・施設に対するメッセージカードの受付		4
	(3) 調査、会議等の結果 ・施設・スタッフに対しての思い出、感謝の言葉 多数 ・リニューアル後の新施設への期待の声 多数		
	(1) 良好とする評価 ・科学センターでいろいろあそびたいけんしたりして、楽しかったです。あたらしくなっても行きたいです。 ・36年間、お疲れ様でした!! ありがとう。 ・こどものころ来たこの場所へ、またこどもと来てたのしかった! ・少年時代を思い出し、思わず涙が出た。大人になって忘れていた小学生の頃を思い出した。新しく生まれ変わっても子供に夢を与える館に生まれ変わって下さい。 ・2年後を楽しみに待っています。		
(2) 苦情・改善等の要望事項			
<<対応措置>>			

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和3年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和3年度決算		令和2年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	5,000,000	利用料金	7,716,560	歳入	使用料	10,199	使用料	36,248
	指定管理料	32,100,000	指定管理料	32,100,000		雑(納付金)		雑(納付金)	
支出	委託料		委託料		歳出	行政財産目的外使用料	35,212	行政財産目的外使用料	35,212
	販売収入等		販売収入等			貸付料	120,560	貸付料	585,778
	その他収入		その他収入	19		その他		その他	
	計	37,100,000	計	39,816,579		計	165,971	計	657,238
支出	人件費	21,524,000	人件費	20,440,194	歳出	指定管理料	32,100,000	指定管理料	32,943,977
	設備管理費	5,172,000	設備管理費	4,876,339		委託料		委託料	
	備品購入費	300,000	備品購入費	0		需用費	290,109	需用費	
	修繕費	700,000	修繕費	211,526		役務費		役務費	
	光熱水費	6,500,000	光熱水費	6,661,011		使用料・賃借料	1,891,554	使用料・賃借料	1,863,528
	事業費	700,000	事業費	1,293,800		修繕費		修繕費	
	事務経費	526,000	事務経費	462,977		工事請負費		工事請負費	
	本社経費	1,200,000	本社経費	1,200,000		備品購入費		備品購入費	
	その他	478,000	その他	2,481,313		その他		その他	
	計	37,100,000	計	37,627,160		計	34,281,663	計	34,807,505
自主事業	収入	904,800	収入	990,688					
	支出	753,840	支出	566,112					
	自主事業損益	150,960	自主事業損益	424,576					
損益		150,960		2,613,995	差引		-34,115,692		-34,150,267
人件費比率【人件費(賃金等)／令和3年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									54.3%
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて  で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長1名(常勤)、館長補佐1名(常勤)、指導スタッフ2名(常勤1名、非常勤1名)、受付事務スタッフ3名(常勤2名、非常勤1名)、施設管理スタッフ1名(非常勤) 計8名(地元雇用:8名)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか		☑
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		3
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と連携した自主事業プログラムの開催</li> <li>・地元雇用の推進</li> <li>・地元事業者からの物品購入</li> <li>・アウトリーチ事業の推進</li> <li>・職場体験(地域活動学習)・インターンの受入</li> <li>・学生ボランティアの受入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供プログラミング～自動運転で動く車の仕組み(7・8・1月の3回開催)</li> <li>・ファイナルイベントの開催(3月12～13日)</li> <li>・感染拡大防止のため、以下の事業を中止・縮小した。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①アウトリーチ事業(原則中止)</li> <li>②職場体験(地域活動学習)・インターンの受入(中止)</li> <li>③近隣地区清掃活動への参加(中止)</li> </ul> </li> </ul>	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価	
指定管理者の健全性	3	6	合計得点 <b>68</b>	
施設の有効活用	4	16		
利用者評価	4	16		
事業収支	3	6		
管理運営全般	3	12		
危機管理体制	3	6		
地域連携	3	6		
評価理由	<p>「2 施設の有効活用」について、新型コロナウイルスの影響もあり大幅に落ち込んでいた前年度に比べ、今年度は1.5倍の利用者数となった。閉館前の市民の思い出作りを目的としたファイナルイベントなどの追加事業の実施や、それに伴う積極的な広報活動による結果であると分かるため、評価を4とした。</p> <p>「3 利用者評価」について、例年実施していた利用者満足度調査の実施がなかったが、閉館となる施設に向けたメッセージの受付をした結果、多くの感謝の言葉や思い出が寄せられ、良い評価を得ていることが分かった。また、その内容から子どもの頃に施設を利用していた親の世代も閉館前を機に施設を訪れており、事業計画のとおり市民の思い出に残る運営ができていることが分かるため、評価を4とした。</p>			
取組み・改善案等(施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)	
次年度の目標・取組み等(施設所管課)	閉館後リニューアルに伴い、令和4年度より公園緑地課へ所管変更			

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・閉館に向けてファイナルイベント(3月12~13日)を開催し、来館者・スタッフともに盛大な思い出づくりの場となった。イベントではサイエンスショーや立体映画を再開するほか、コロナ禍において、自宅で工作ができるようにオリジナル工作キットを製作し、販売した。立体映画は最終日まで継続した。
- ・引き続き再入館許可制度を導入し、城山公園の一体的な利用促進を図った。
- ・来館者層が低年齢化している状況を踏まえ、冒険広場や幼児の広場の備品整備に取り組んだ。
- ・密集状態をつくる事業(サイエンスショー・団体向け事業等)は原則中止し、要望に応じて実施するものとしたため、アウトリーチ事業(出前サイエンスショー)は1回、団体向け教室1回の実施となった。
- ・積極的な広報活動(チラシ配布、ポスター掲示、ホームページ・ブログ更新)により、施設の認知度向上に努めた。
- ・昨年度から公式ツイッターを開始し、リアルタイムな情報提供を実施した。
- ・またネット犯罪対策としてSSL(Secure Sockets Layer:データを暗号化して送受信する仕組み)を装備し、安全に安心して閲覧できる仕組みとしている。
- ・休館日の削減(第3金曜日、GW・夏・春期休業期間中の月曜日、1月2日~3日の年始閉館)を実施した。
- ・地域出身の講師の招聘、話題性の高い講演会、教室など多分野にわたり開催した。
- ・関係団体、企業と連携し、イベントを開催した。
- ・スタンプカードの運用により、リピーターが増加している。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・適正な人員配置による人件費の縮減や、業務の相互補完体制を強化した。
- ・エネルギー管理の徹底に努めた。
- ・チラシ、広報物等の内製化による広告費の削減に努めた。
- ・施設管理スタッフの日常修繕実施により、小規模修繕費を削減した。
- ・展示物の製作や修理、設備修繕を内製化し、再委託を極力抑えた。

③ その他

- ・「ながの子育て支援カード事業」「多子世帯応援プレミアムパスポート」に協賛し、ミュージアムショップの割引(5%)を実施した。
- ・地域活動学習は中止、サマーチャレンジボランティア(52名)の受入れは実施した。
- ・長野市家庭・地域学びの課主催の「親子わくわくフェスタinトイゴ」に協力し、サイエンスショーを実施した。
- ・職員が定期的に、展示室内の密集状態の巡視や、展示物の消毒作業を行い、感染症対策として衛生管理に努めた。
- ・職員への賞与支給により、職員満足度の向上を図るとともに、意欲の向上と人材確保につなげた。
- ・新型コロナウイルス感染症流行に伴う利用料金収入の減少に対して、支出の調整(抑制)を行う必要があるため、日常清掃の内製化による外注費の削減、事業の材料調達においては在庫の活用により経費縮減を実現、同時にサービス品質の維持に努めた。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

(3) 総合評価 評価基準  
 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり  
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者  
自己総合評価  
**B**

① 評価理由

利用者より一番要望の多い展示物のリニューアルについて、業者より購入した場合は多額の予算が必要なことから、内製化および借用により、令和3年度は以下の展示物を導入することが出来た。

【新規展示物5点】

- ① エジプト関連展示(仮面、棺、食卓模型、ロゼッタストーン等) ②ケブラモーション ③ストロボロボ2
- ④恐竜模型 ⑤宇宙関連(重力の違い、ロボットアーム、宇宙飛行士トレーニング、月の体重計等)

【借用展示物3点】

- ①模型飛行機 富嶽 ②動物の骨の標本7点 ③アマチュア無線機器

1月下旬~3月上旬までの休館期間においても、営業再開に向けて新たな展示物を製作したり、ファイナルイベントを企画するなど、営業最終日まで意欲を持って取り組むことができた。

② 次年度以降の取組み